

日野町障害者等策定委員会（第2回）議事録

1 日時

令和6年1月24日（水） 午後3時30分～5時00分

2 会場

日野町山村開発センター 2階 研修室

3 出席者

（委員）森本 智喜、三好 康之、梅林 日登美、西古 久恵、稲田 治、緒形 崇子、佐藤 あい、遠藤 律子

（事務局）住田 秀樹、生田 直子、杉原 陽介

4 協議

司会：森本委員長

（1）障害プランの修正について

事務局より、素案（修正版）、別添1、別添2により修正報告。

（2）意見交換

委員：教育福祉連携強化について、令和8年度策定する教育課が「教育振興基本計画」に明記予定。また、毎年見直している内容は、この会議で示したい。

委員：P13の移動手段の確保について、進行状況は？

事務局：日野郡の共通課題である。将来的には連携が必要であるが環境が多様で調整には時間がかかると思われる。現在は単町で支援している。来年度日野町は社協がコーディネートし、複数の事業所が送迎する案を作成した。日南町：令和6年度開始。長期休みのみ民間タクシー送迎でタクシーメーターの代金を町が支払う。江府町：シルバー人材センターに委託。

委員：資料日野郡3町の「障害認定や障がい福祉サービス支給決定状況（R6年1月調べ）」を情報提供。

委員：社協との連携は、特に良いと思うが、実現可能か？

事務局：社協との連携を強化したい。基本的に可能なことを記載している。

委員：情報提供：日野郡の資料「障害認定や障害福祉サービス支給決定状況（R6年1月調べ）」事業所の送迎範囲は20分以内が多い。家族による送迎が多いが高齢化が課題となっている。

事務局：日野郡に放課後等デイサービスの立ち上げは難しいか？

委員：放課後子ども教室なら、子どもの状態に合わせ必要な専門性のある職員と場所の確保が必要。現在でも人材不足。

委員：障害福祉サービス等の制度では、有資格、実務経験、配置職員数などの基準がある。

委員：町の子ども教室利用を6年間待っている。

委員：教育と福祉連携して検討が必要。

委員 :わかとり作業所で多機能サービスを始めた。日野郡に必要なサービスで実施したいが、利用者が4～5人ないと採算が取れない。人数が集まらないとできないと思う。

委員 : 本人が地域でつながれるとよいと思う。

司会 : この修正版でよいことと、今後のスケジュールを確認。来年度もこの会議が開催されるので、意見交換をする予定。ご承知いただきたい。

(3) その他

5 閉会